



フェリーさんふらわあ

別府湯布院バス&フェリー満喫女子旅

【2017年9月 大阪府在住 | 様】

(旅のコメント)

久しぶりの九州別府への女二人旅。さんふらわあで様々な出会いは、旅の大きな思い出となりました。

(フェリーさんふらわあの旅1日目)

出港15分前のドラが船室まで鳴り響きます。

ここは”さんふらわあ あいぼり”の【レディースルーム】

これから始まる船旅を祝福してくれているような大きな音です。女(子)二人旅! 始まりです♪

”フェリーさんふらわあは、女性の船旅を応援します!”のキャッチフレーズ通り、全船レディースルームが完備され女性も気軽に船旅が楽しめます。部屋には女性に嬉しい美容グッズが置かれ、アメニティセットやウェルカムドリンクは頂け、乙女心(笑)驚掴み!

また、この航路は波穏やかな瀬戸内海を行き交う船を見る事が出来、そこに架かる3つの橋も海上から見れます。

さんふらわあ内には橋の通過時間や日の出時間も表示されるので忘れずチェック。

夕食も大人1540円という嬉しい価格で船上バイキングを楽しみました。

デザートまで頂き満腹感いっぱいデッキに上がります。

小雨と風が吹いていましたが、美しくライトアップされた明石海峡大橋が見えてきました。

陸路とは違う眺めです。淡路島と神戸の光も見えます。

暗闇の中、海だけを見ていたら気づかなかったのですが、

陸地を見ていると”さんふらわあ”のスピード感も体感できます。

潮風と雨でぬれた身体を洗いに、展望浴場へ行きます。

気持ちよいほどお湯もたっぷり、人、車だけでなく、沢山の水も積まれてる事に驚きです。

部屋に戻り備え付けの浴衣に着替え、レディースルーム用美容器具を使ったり、テレビを見たりと至福の船旅時間が流れて行きます。出港してから船の揺れは感じません。流石9245トンです。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

(フェリーさんふらわあの旅2日目)

翌朝、日の出を見る為にデッキに上がります。

水平線付近は厚い雲に阻まれてましたが、雲の切れ目から眩しい朝日が顔を出しました。

別府観光港に到着後は『MYべっぴんFree2日ワイドフリー乗車券』の出番です。

地獄めぐりから始まりました。

かなり昔、学生時代に体験した時より、

地獄周りの環境（お土産、名勝、足湯など）がレベルアップしてました。

地獄に仏状態で楽しめます。

赤い熱泥の池『血の池地獄』と間欠泉の『龍巻地獄』は近くにあり、

人間の手の届かない所にある地球の底力をいきなり目にする事となります。

ふたたびバスに乗り鉄輪温泉に向かい残りの5つの地獄めぐりに行きます。

コバルトブルーが美しく、焼きプリンと極楽饅頭が美味しかった『海地獄』、

灰色の熱泥が沸騰する様子が坊主頭に似ている『鬼山坊主地獄』、

1丁目～6丁目までさまざまな湯の池がある、『かまど地獄』、

別名「ワニ地獄」とも呼ばれている『鬼山地獄』、

熱帯魚館やピラルク館がる『白池地獄』、

地獄めぐり、それぞれに特徴があり、新鮮な驚きも秘めており飽きずに楽しめました。

鉄輪温泉を散策します。



『いでゆ坂』を下ると、歩道からも湯気が立ち上ってます。

無料の足湯、100円温泉など、生活に密着している温泉、流石おんせん県です。

足蒸しは足を入れ、前に置かれた箱をかぶせます。

蒸してるだけなのに足はかなり熱くなり全身ボカボカします。

横の足湯にも入り、次に向かったのは 鉄輪むし湯です。

敷きつめられた和製ハーブ「石菖」の上に浴衣で寝ます。

薬草の香りが広がり汗が直ぐに滝のように出てきます。

老廃物も流してくれてるのでしょね！薬効に期待感大デス！



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

ランチは地元の人お薦めの、別府なのに店名「新博多」で大分名物三点セット（とり天、団子汁、琉球）です。
琉球は沖縄の1品と思いきや、お刺身の端っこなどを醤油漬けし薬味などを混ぜて食べる大分の郷土料理でした！美味し〜！

大分のとり天はカラシとポン酢で食べるのを新発見！
お腹もいっぱいになり次に向かったのは温泉の蒸気を利用した「地獄蒸し料理」です。

『地獄蒸し工房鉄輪』体験は待ち時間もできていたので諦め、
店頭販売されてた蒸し玉子とサツマイモを食べました。
サツマイモは蒸すことにより甘み倍増、卵も美味しかったです。

この日の別府最後の温泉は、歴史ある重厚な建物の『竹瓦温泉』の砂湯です。
砂かけさんが、砂に寝床を作ってくれ砂を上からかけてくれます。
意外とずっしりとした重みの温泉水を含んだ砂で指圧効果があるのも頷けます。
大量の汗をかくので毒素排出も期待しながら15分の砂湯を楽しみました。

そして本日の宿泊地【湯布院】に向います。
2日間のワイド切符で湯布院まで行けます。

城島高原パークや別所ロープウェイ、由布岳を越えると湯布院駅前に到着です。
バスの中からも観光でき、お得感満載なバスルートです。

宿泊先『ペンションゆふいん』に到着です。

かけ流しの露天風呂や家族風呂が
旅の疲れを癒してくれます。

夜は駅前の「心」で豊後牛まぶしを食べました。
炭火で焼かれた大分県ブランド「豊後牛」は
柔らかくて3種の食べ方も堪能できます。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

(フェリーさんふらわあの旅3日目)

翌朝、露天風呂で癒された朝食は地元でも大人気の「アーゴス」のパンが付いています。スープから最後のコーヒーまで美味しいペンションゆふいんのおもてなし。スタッフさんもとても親切で素敵な湯布院の思い出ができました。

この日はゆっくり湯布院散策です。

鏡のように森が映し出された美しい湖面を見ながら散策する金鱗湖、食べ歩きを楽しむ湯の坪街道、途中、観光辻馬車を見たり、温泉に入ったり、ワインを飲んだり。ゆったり流れる湯布院時間を満喫しました。

別府に戻る時間が近づき、バスで由布岳を目に焼き付けながら戻りました。

別府観光港では、“さんふらわああいぼり”が出迎えてくれます。

週末の晴れたこの日、出港準備が整った時に貴重な体験が出来ました。昔、テレビで見たことあるテープ投げです。

港では別れを惜しみ、手を振りながら名前を呼んでる人たちも居ました。

私の投げたテープは対岸に届かず、他のテープに絡まって落下しましたが、また来るねという思いは届いたと勝手に思っています。

部屋に戻る際、友達と間違えて降りた階段、そこは一人部屋が並んでいました。

『ここはトラック運転手の部屋だよ。』と遭遇した運転手さんが親切に教えてくれました。

“さんふらわあ”は、私達のような観光客だけでなく、別れのドラマと、沢山の労働者とトラックも運んでいるのだと今更ながらに気づきました。

“さんふらわあ”は居住空間だけでなく全てが快適空間でした。

(部屋により違うのかもしれませんが、) トイレや洗面所も清潔で沢山あり混みあう事はありませんでした。

自販機のドリンクはコンビニ位の価格というのも嬉しいです。

週末のこの日はさんふらわあミュージックナイトで素敵なジャズを聴きました。

深夜にはデッキに上がり来島海峡大橋を見ました。

真っ暗闇の中、瀬戸内海を歩きかう船は多く、航行もむつかしいだろうなあと感じました。

隣で見ておられた、弾丸ツアーで乗船されてた船好きな方は、夜間航行の際の交通ルール等を教えてくれました。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

(フェリーさんふらわあの旅4日目)

翌朝も展望浴場に入り、朝食バイキングを食べ、”さんふらわあ”との別れを惜しむように、思いっきり楽しみました。ついに下船の時が来ました。

レディースルームでの快適な船旅は、楽しかったおんせん県の思い出を笑顔のまま大阪に連れて帰ってくれました。

さんふらわあ内で出会った船員さん達の温かいご対応、また偶然乗り合わせた人達との会話、沢山の思い出ができました。素晴らしい思い出を作ってくれた”さんふらわあ”に感謝です！

次はいつ乗れるかなとワクワクとしております。 素敵な船旅をありがとうございました。

☆今回の行程☆

1日目 大阪南港へ！ さんふらわあ乗船 船旅満喫☆

2日目 バスで移動 鉄輪地区 地獄めぐり 竹瓦温泉 湯布院 泊

3日目 湯布院観光

4日目 大阪港到着後、帰路。



☆今回の行程でおすすめ「船に泊まろう 徒歩プラン」。片道最安値7,900円～楽しめる船旅です。

船に泊まろう。

